

厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）
（分担研究報告書）

がん診療連携拠点病院等におけるがん診療の実態把握に係る適切な評価指標の確立に資する研究
—全国の拠点病院等の諸活動に関する専門家の立場から—

研究分担者 増田昌人 琉球大学病院がんセンター センター長・特命准教授

研究要旨

沖縄県がん診療連携協議会（以下、協議会）の事務局（幹事長）および下部組織のベンチマーク部会長として、その作成を中心に担った「第4次沖縄県がん対策推進計画（協議会案）」の経験から、がん診療連携拠点病院等におけるがん診療の実態把握に係る適切な評価指標を提案した。

同様の立場で、計画の立案から実行までを中心となって担った「第2回沖縄県医療者調査（協議会主催）」の経験から、本研究班で計画している医療者調査に関して、積極的に提案を行った。

A. 研究目的

1. 「第4次沖縄県がん対策推進計画（沖縄県がん診療連携協議会案）」の作成経験から、がん診療連携拠点病院等におけるがん診療の実態把握に係る適切な評価指標を提案する。
2. 「第2回沖縄県医療者調査（沖縄県がん診療連携協議会主催）」の作成・実行経験から、本研究班で計画している医療者調査に関する提案を行う。

B. 研究方法

1. 沖縄県がん診療連携協議会（以下、協議会）の下部組織であるベンチマーク部会で、ロジックモデルを用いて「第4次沖縄県がん対策推進計画（協議会案）」のたたき台を作成する。その後、他の5つの専門部会、幹事会、協議会で議論を深めて、最終的な「第4次沖縄県がん対策推進計画（協議会案）」を作成する（その後、沖縄県知事に提案した）。さらに、そこから本研究班で作成しているがん診療連携拠点病院等におけるがん診療の実態把握に係る適切な評価指標を提案する。
2. 協議会の下部組織であるベンチマーク部会で、「第2回沖縄県医療者調査（協議会主催）」のたたき台を作成する。その後、他の5つの専門部会、幹事会、協議会で議論を深めて、最終的な「第2回沖縄県医療者調査（協議会主催）」を作成し、調査を行う。さらに、本研究班で計画している医療者調査に関して、積極的に提案を行う。

（倫理面への配慮）
特になし

C. 研究結果

ロジックモデルを用いた「第4次沖縄県がん対策推進計画（協議会案）」を作成した。その経験を用いて、本研究班で作成しているがん診療連携拠点病院等におけるがん診療の実態把握に係る適切な評価指標を提案した。

「第2回沖縄県医療者調査（協議会主催）」を作成し、調査を行った。さらに、本研究班で計画している医療者調査に関して、積極的に提案を行った。

D. 考察

今回の研究班では、ロジックモデルを用いて、がん診療連携拠点病院等におけるがん診療の実態把握に係る適切な評価指標を選定の議論を行っている。今回の「第4次沖縄県がん対策推進計画（協議会案）」の作成の際にもロジックモデルを用いたため、アウトカムに対する指標の提案が行えた。

E. 結論

「第4次沖縄県がん対策推進計画（協議会案）」の経験から、がん診療連携拠点病院等におけるがん診療の実態把握に係る適切な評価指標を提案した。「第2回沖縄県医療者調査（協議会主催）」の経験から、本研究班で計画している医療者調査に関して、積極的に提案を行った。

F. 健康危険情報

特になし

G. 研究発表

1. 論文発表

なし

(予定を含む)

2. 学会発表

増田昌人、がん対策に資するデータ分析を利用した第4次沖縄県がん対策推進計画（沖縄県がん診療連携協議会案）の作成、第61回日本医療・病院管理学会学術総会シンポジウム、2023

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況